

市民アンケート調査結果概要

住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の市民2,000人を対象に実施したアンケート調査（平成15年7月発送）において、回答が得られた707人（有効回収率約36%）の調査結果を以下に示す。

1. 回答者のプロフィール

回答者のプロフィールは図1、図2、図3、図4に示すとおりである。

図1 性別

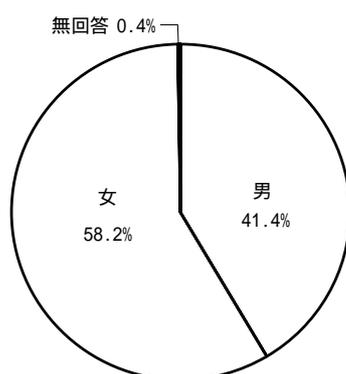


図2 年齢

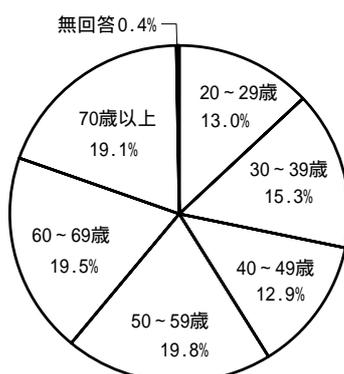
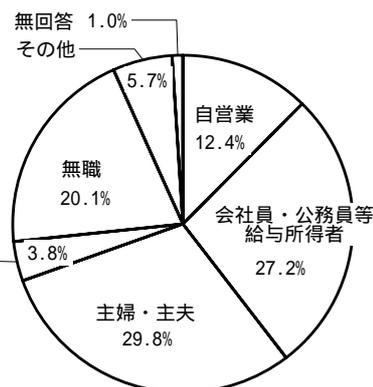


図3 居住地



図4 職業



2. ごみ問題やりサイクルの取組への関心と具体的な行動の実行（図5、図6）

ごみ問題やりサイクルの取組への関心と具体的な行動の実行の状況を図5、図6に示す。

「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせて約94%がごみ問題やりサイクルの取組に関心を持っている。

女性、男性では差が見られないが、年齢別にみると、「60歳代」以上の年齢で「非常に関心がある」がやや高くなっている。

一方、ごみ問題やりサイクルへの具体的な行動としては「いつも実行している」「十分とは言えないが実行している」を合わせて約87%であった。

「いつも実行している」「十分とは言えないが実行している」を合わせた具体的な行動の実行程度は女性が男性よりやや高く、また、年齢別に見ると、年齢が低下するにつれて、具体的な行動の実行程度が低くなる傾向がある。ただし、「20歳代」「30歳代」では「いつも実行している」割合が「40歳代」「50歳代」と比べて高かった。

図5 ごみ問題やリサイクルの取組への関心

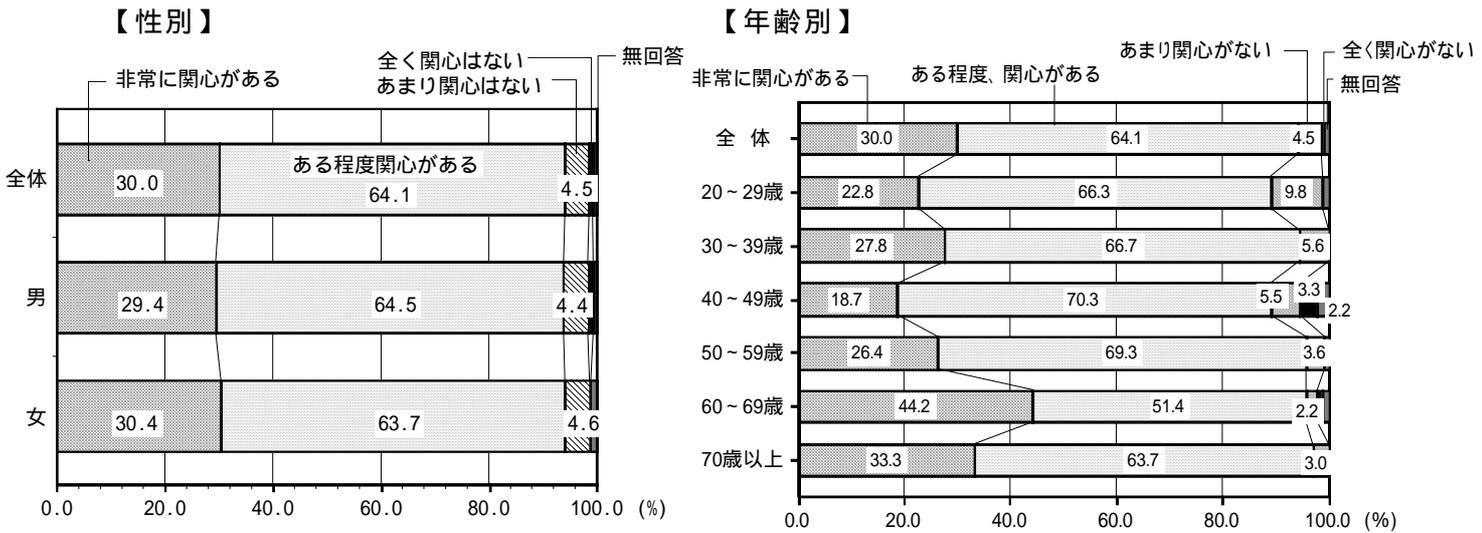
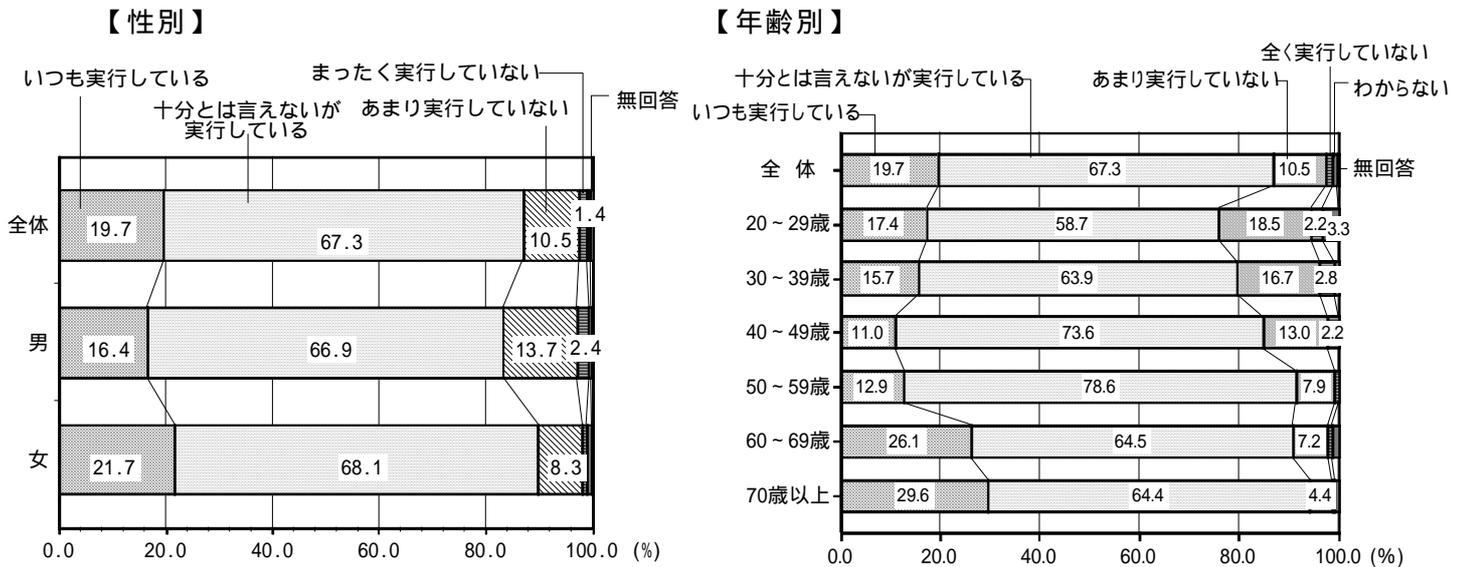


図6 ごみ減量やリサイクルのための具体的な行動

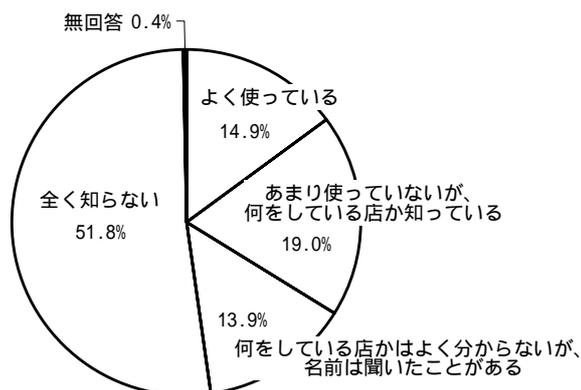


3. めぐるくんの店の認知状況

めぐるくんの店の認知状況は図7に示すとおりである。

「よく使っている」が約15%であり、「あまり使っていないが、何をしている店が知っている」の約19%と合わせて、めぐるくんの店の認知度は約34%である。

図7 めぐるくんの店の認知状況



4．日常的に実行している発生抑制とリユース（再使用）行動

日常的に実行している発生抑制とリユース行動の状況を図8に示す。

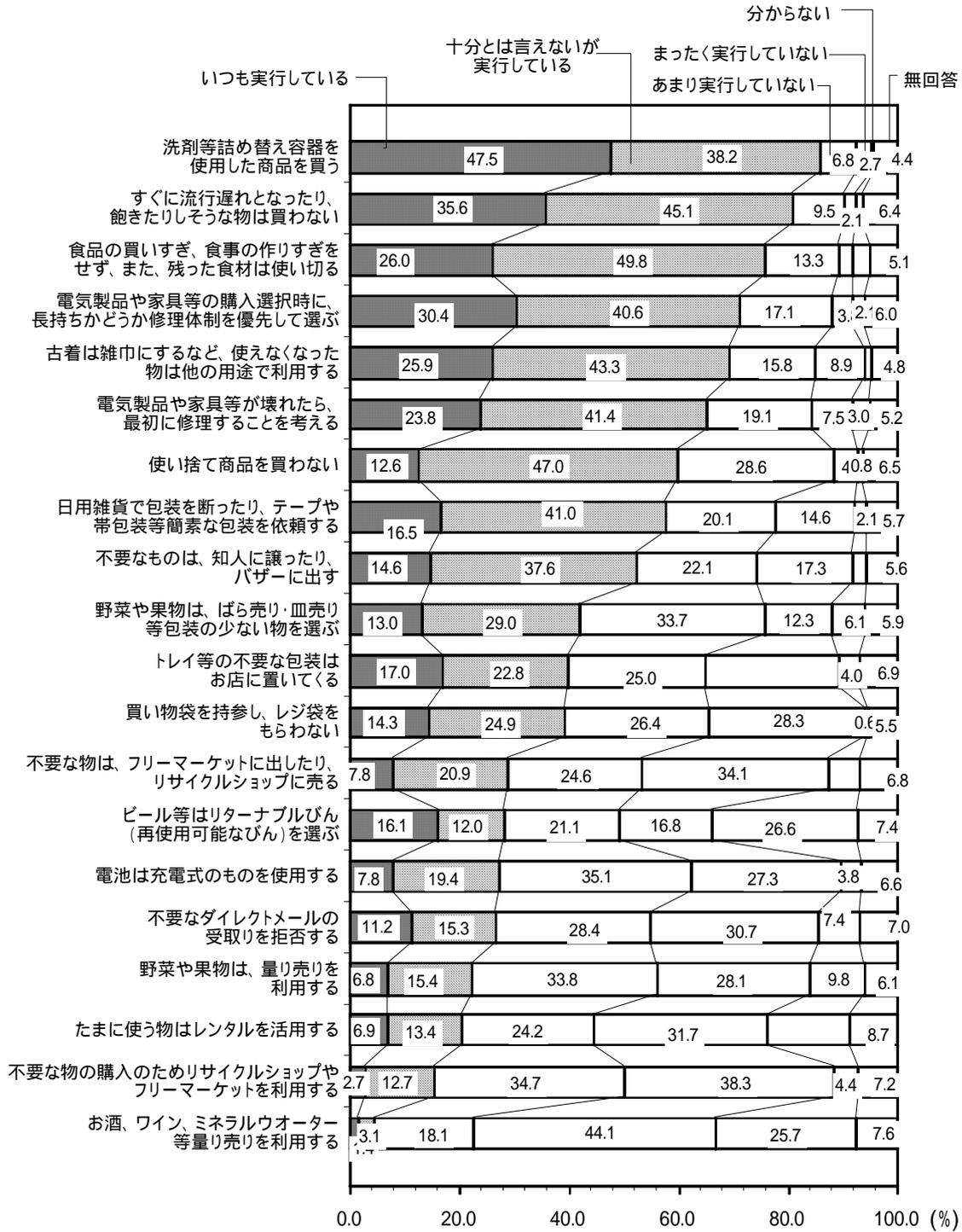
発生抑制とリユース（再使用）行動として7割以上の実行率（「いつも実行している」と「十分とは言えないが実行している」を合わせた回答率）であったものは

- 「洗剤などは詰め替え容器を使用した商品を買う」(85.7%)
- 「すぐに流行遅れとなったり、飽きたりしそうな物は買わない」(80.7%)
- 「食品の買いすぎ、食事の作りすぎをせず、残った食材は使い切る」(75.8%)
- 「電気製品や家具等は購入する時に、長く使えるようなものや修理体制を優先して選ぶ」(71.0%)

一方、実行率の低い発生抑制とリユース（再使用）行動として30%未満の回答であったものは

- 「お酒、ワイン、ミネラルウォーター等は量り売りを利用する」(4.5%)
- 「必要な物を購入する時もリサイクルショップやフリーマーケットを利用する」(15.4%)
- 「たまに使うものはレンタルを活用する」(20.3%)
- 「野菜や果物は、量り売りを利用する」(22.2%)
- 「不要なダイレクトメールの受取りを拒否する」(26.5%)
- 「電池は充電式のものを使用する」(27.2%)
- 「ビール等はリターナブルびんを選ぶ」(28.1%)
- 「不要な物は、フリーマーケットに出したり、リサイクルショップに売る」(28.7%)

図8 日常的に実行している発生抑制とリユース（再使用）行動



5. 日常的に実行しているリサイクル（再生利用）行動

日常的に実行しているリサイクル行動の状況を図9に示す。

リサイクル（再生利用）行動として7割以上の実行率（「いつも実行している」と「十分とは言えないが実行している」を合わせた回答率）であったものは

「缶・びん・ペットボトル、小型金属類等をきちんと分別して、決められたごみの日に出す」（88.8%）

「古紙や古布を集団回収やちり紙交換に出す」（82.5%）

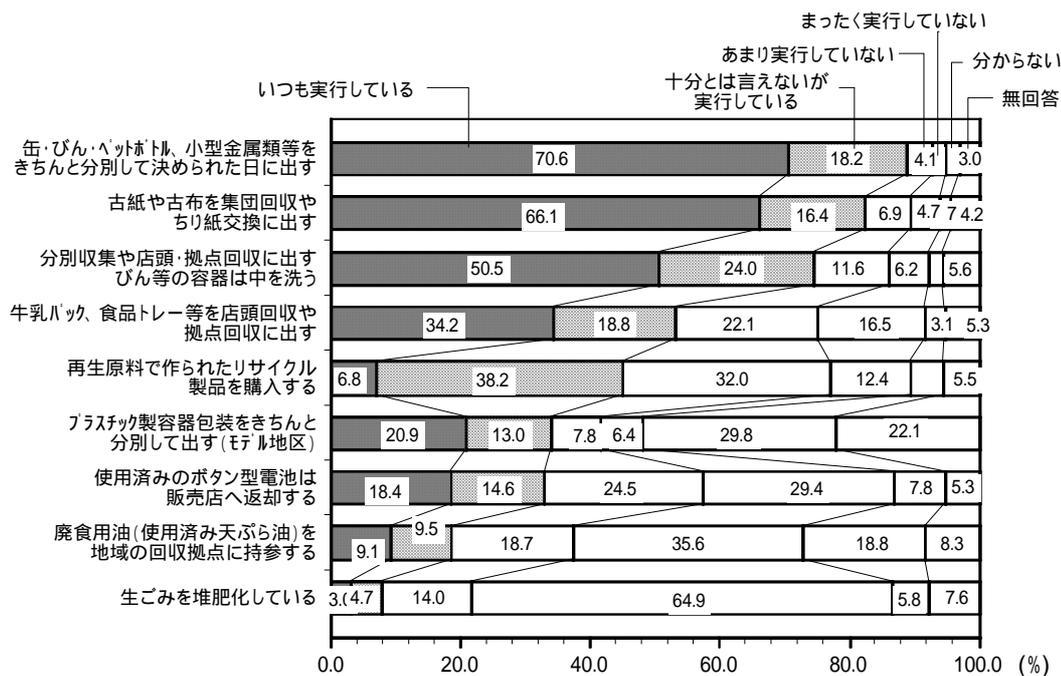
「分別収集や店頭・拠点回収に出すびん等の容器は中を洗う」（74.5%）

一方、実行率の低いリサイクル（再生利用）行動として30%未満の回答であったものは

「生ごみを堆肥化している」（7.7%）

「廃食用油（使用済みてんぷら油）を地域の回収拠点に持参する」（18.6%）

図9 日常的に実行しているリサイクル（再生利用）行動



6. 利用している（又は利用してみたい）発生抑制とリユース（再使用）の取組（図10）
発生抑制とリユースに関して、現在利用している、今後利用してみたい取組は図10に示すとおりである。

「現在利用している取組がある」と約41%の人が回答しており、「今後利用してみたい」取組があるとの回答は約83%であった。

現在利用している取組として高い回答を以下に示す。

- 「牛乳・ジュース・酒・醤油等のリターナブル（再使用可能な）容器」(20.7%)
- 「家電製品、家具、おもちゃ、自転車等の修理センター」(12.0%)
- 「生鮮野菜、総菜の量り売りシステム」(10.6%)

今後利用してみたい（「現在利用している」を含んでいる）取組として高い回答を以下に示す。

- 「家電製品、家具、おもちゃ、自転車等の修理センター」(49.9%)
- 「牛乳・ジュース・酒・醤油等のリターナブル（再使用可能な）容器」(40.0%)
- 「まだ使える大型ごみの修理や中古品展示プラザ」(36.1%)
- 「生鮮野菜、総菜の量り売りシステム」(34.5%)

図10 利用している（利用してみたい）発生抑制・リユースの取組

